



商店街の活性化を目指して : 甲南本通商店街のイベントを例に

稲垣, 颯太

(Citation)

課題研究優秀論文集, 2020:19-32

(Issue Date)

2021-01

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/81012900>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012900>



商店街の活性化を目指して

—甲南本通商店街のイベントを例に—

To revitalize the shopping street

稲垣颯太
Sota Inagaki

Abstract

These days, closed shops are seen more frequently especially in suburbs. These decreasing of shops cause many problems, for example deterioration of the public security due to depopulation.

In this study, to revitalize one shopping street, called *konan-hondori-syoutengai*, was targeted. First of all, I accompanied *hyogo* education university research team to learn circumstance and issues of *Nushima* island, which is one of the depopulation areas.

Secondly, it was succeeded to have a cooperation from director of the shopping street association.

After that, I planned and did a Xmas event with its target “To make more close relation between shopping street and neighbors and to revitalize the street.” in Desember,21, 2019. Only purchased people allowed to join this event. It is because in order that it could be tested how effective this event was to incline people to buy some products in the shopping street by counting the number of receipts

On that day, I had 164 participants, 56 receipts of 85070 yen in total. After the event, the director appreciated that this event played a big role and did great contribution.

Keywords: Economy, Social issues, Social contribution, Revitalization, Sustainable society

第1章 背景

第1節 研究背景

「持続可能」という言葉が政治の世界だけでなく私たちの身近な生活で感じられるようになってまだ久しい。私の場合では、中学3年生の時に「ESD(持続可能な開発のための教育)」という授業が学校内の必修科目としてあり、世界の解決すべき17個の目標(SDGs)の中から学期ごとにいくつかのテーマを選んで、何が問題なのか、それによってどんな人がどのように不利益を被っているのかなどについて学習し、それらの問題に対して中学生として何ができるかについて考えた。そこで、この論文は本学における卒業論文であるため、ESDで学んだことを活用し、これまでの学習の総括として私たちの生きる日本の未来をより明るいものとするため、日本の持続可能性について考えてみたいと思う。

さて、現在の日本で持続可能の観点から問題となっていることは何があるだろうか。日本の未来を考えるうえで絶対に無視できない問題として「少子高齢化問題」があげられるだろう。いくら国家予算があろうとも、どれだけ広い国土を有しようとも、国に属する国民がいなくなってしまうば国として立ち行かなくなってしまうだろう。現に現在、日本では働き手の不足から外国人労働者の受け入れを積極的に行い、技能実習制度なども実施されている。少子高齢化、老後2000万円問題など様々な日本の未来への不安が浮き彫りになっている現代の日本に生きる私たちにとってこの「持続可能」というテーマは、とても関連の深いもののように思えて仕方がない。「少子高齢化は嘘だ」であったり、「それによる被害はない」とした主張をする評論家や社会学者もいるため、本論文で少子高齢化の真実について議論をしたり、少子高齢化対策として少子化を回避、またはそれに伴う被害を少しでも小さくすることを考えても良いのだが、現実的に少子高齢化は今の日本の社会にとって回避することのできない現実となっていることは明白だろう。

それでは、少子高齢化の定義とは一体どのようなものであるのだろうか。その定義について調べてみたいと思う。少子高齢化とは、「少子化」と「高齢化」という言葉が合わさったことばであり、「少子化」とは、三省堂が出版する大辞林では以下のように定義づけされている。

親世代よりも子世代が少なくなること。合計特殊出生率が人口置換水準を下回る状態が続く、子供の数が減少すること。総人口に占める子供の人口の割合が低下すること。
三省堂「大辞林第三版」2006年出版

一般的に現在の人口を維持するための合計特殊出生率は2.1となっているため、合計特殊出生率が2.1を下回ると少子化の傾向があると言えるだろう。ちなみに1950年の合計特殊出生率は3.65、1996年は1.43、2005年は1.25であった。

「高齢化」とは、三省堂が出版する大辞林では以下のように定義づけされている。

人口全体の中で高齢者の割合が高まっていくこと。

三省堂「大辞林第三版」2006 年出版

また、高齢化に関連して高齢化社会、高齢社会、超高齢化社会という言葉がある。高齢化社会とは、人口に占める高齢者の割合が 7%を超えている状態をいう。ここでいう「高齢者」とは 65 歳以上の人を指す。同様に高齢社会は、人口に占める高齢者の割合が 14%を超えている状態をいい、超高齢化社会とは人口に占める高齢者の割合が 21%を超えている状態をいう。

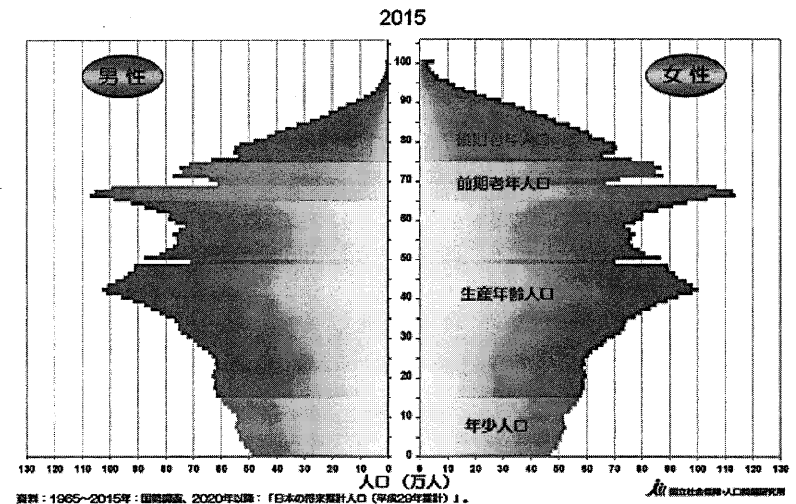
以下の文章は、日本が迎った少子高齢化の歴史を他国と比べたコラム記事である。

日本が高齢化社会に突入したのは、1970 年のことです。1970 年の国勢調査によると、その年の総人口は約 1 億 370 万人。これに対し 65 歳以上の人口は約 730 万人（約 7.04%）でした。このうち、65～74 歳までの前期高齢者は約 510 万人、75 歳以上の後期高齢者は約 220 万人です。この頃は高度成長真っただ中であり、医療や化学技術が飛躍的に進歩した時期でした。そのため長生きする人が増え、人口に占める高齢者の割合が増えたのです。

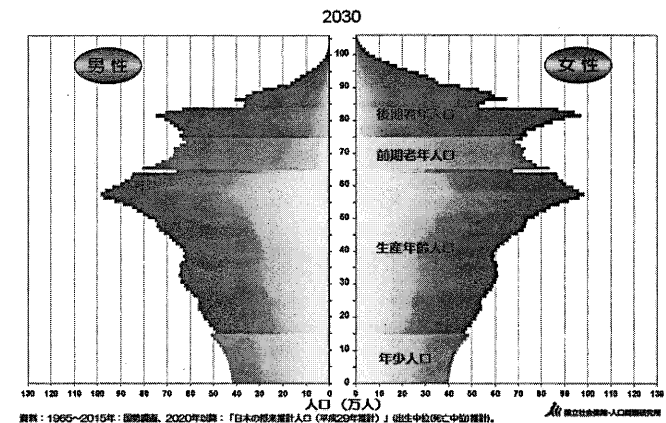
1970 年に高齢化社会となって以降、高齢者の人口は増え続けました。1994 年の人口推計（総務省統計局）によると、総人口約 1 億 2300 万人に対し高齢者数は約 1760 万人となり、高齢化率は 14%を超え、日本は高齢社会を迎えました。海外では、高齢社会となるまでドイツは 42 年、フランスは 114 年の年数を経たのに対し、日本はわずか 24 年で高齢社会に突入しています。急速に高齢化が進んだ背景には、少子化が影響しています。人口動態調査によると、高齢化社会に突入した 1970 年の合計特殊出生率が 2.13 だったのに対し、1994 年は 1.50 と大きく減少。子供が減り続ける中で高齢者人口は増えていったことが、急速に高齢社会へと進んだ原因と考えられるでしょう。高齢社会となって以降も、少子高齢化に歯止めはかかりませんでした。2007 年にはついに高齢化率が 21%を超え、日本は「超高齢社会」を迎えたのです。内閣府の平成 29 年版高齢社会白書によると、2016 年 10 月 1 日現在の高齢化率は 27.3%、高齢者数は 3459 万人となっています。また、2008 年には人口減少が始まっており、今後高齢化はますます加速していくことが予想されます。2065 年には、全人口の約 25%が 75 歳以上の後期高齢者になり、高齢化率も 38%を超えるとの推計が出ています。日本の高齢化率は世界でも大変高く、今後もハイスピードで進んでいく見込みです。

<https://job-medley.com/tips/detail/904/> 2020/1/28 閲覧

つまり要約すると、少子高齢化とは、総人口に占める子供の割合が低下し、同時に高齢者の割合が高まることをいう。また、ここにおける高齢者とは 65 歳以上を表す。そこで次に、少子高齢化に突入した私たちが今後、もしくは今まさに直面している問題について考えていきたいと思う。以下のグラフは、2015 年と 2030 年の日本の男女年齢層別の人口構成を表したものである。



2015 年における日本の総人口は 1 億 2709 万人。そのうち 65 歳以上の高齢者は 3386 万人で、高齢者比率は 26.6%。世界の先進地域における高齢化率は 17.6%（内閣府調べ）となっており、当時の世界でも最も高い数値となっています。



しかし、その高齢化の流れは更に進み、2030 年における日本の総人口予測は約 1 億 1912 万人と減少するうえに、その内の 31.1%にあたる約 3715 万人が 65 歳以上の高齢者となります。つまり、3 人に 1 人が 65 歳の高齢者となります。

<https://mynavi-ms.jp/magazine/detail/000384.html> 2020/01/28 閲覧

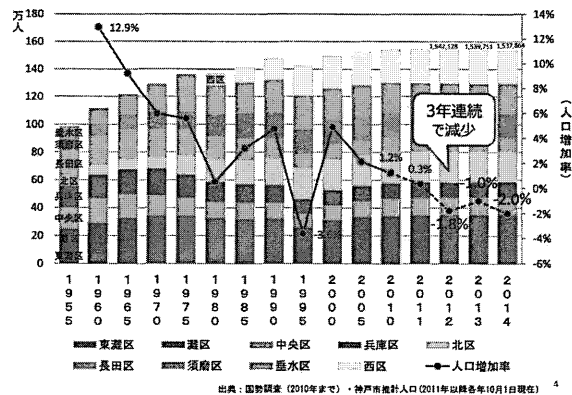
上記のグラフからも分かる通り、少子高齢化が進むと年齢ごとの人口構成が変わるだけで

なく、単純に日本の総人口も減少することになる。人口減少は上記のグラフでいう生産年齢人口の減少に直結する。働き手不足は先ほども述べた通り、海外からの外国人労働者によって賄えるという見方もあるが、私はそれは地球規模で見ると単なる人手の余っている場所から足りない場所に移しただけのその場しのぎであって、少子高齢化問題の根本的な解決策とはならないように思う。働き手不足の他には、老後 2000 万円問題の根幹である年金問題がある。以下の文章は日本の年金制度についてのインターネット記事の記述である。

現在の年金制度は、現役世代が収める保険料が高齢者の年金支給に充てられる「賦課方式」が基本となっています。つまり、現役世代の支払った保険料が積み立てられるのではなく、そのまま年金受給者へと渡る制度です。しかし、2014 年においては 1 人の年金受給者を 20 歳から 64 歳の 2.2 人が支えています。2025 年においては 1.8 人に減少することが財務省の試算で発表されています。2030 年においてはさらに支える人数が減少し、受給世代が増加することから、より逼迫した状況になることは確実に。そのため、受給開始年齢の引き上げや、支給額の減額も想定されます。そのため、年金収入だけを頼りにしている高齢者世帯の生活はダイレクトに影響を受けるため、食費や住居費など基本的な支出をまかなうことも難しい状況になりえます。

<https://mynavi-ms.jp/magazine/detail/000384.html> 2020/01/28 閲覧

他にも、地方都市の衰退などもあげられる。地方都市というと、約 150 万人が住む神戸市に住んでいる私たちにとっては少し遠い地域のことも思われるが、決してそうではない。神戸市でも下記の図からも分かるように人口は減少傾向にあることがわかる。そこで、本論文の研究テーマの大まかな概要を「少子高齢化に伴って衰退していく社会を活性化する」とすることとする。本論文では神戸市内にある甲南本通商店街を再び地域の人達がたくさん往来する地域に愛された商店街とするための研究である。



<https://www.city.kobe.lg.jp/a89138/shise/toke/toukei/jinkou/suikai-jinkou/sokyuujinkou.html> 2020/01/29 閲覧

第2節 研究動機

京都大学の経済学部のオープンキャンパスに行った際の在学学生の話の中で、現在のゼミで古びた商店街の再興をテーマに研究しているという話を聞き、地域の活性化の分野に興味を持ちました。そこで自分の生まれ育った地元の商店街を研究対象として衰退しかけている町の商店街を活性化し、再び盛り上げる方法を模索できるのではないかと思います。生まれてから 17 年間魚崎に住み続けているなかで地元の甲南本通商店街に貢献したいと思い立ちました。そこで、京都大学で聞いたお話を自分なりに実践し地元の力になりたいと強く思うようになった。

第2章 目的

第1節 研究目的

インターネットの普及、女性の社会進出が盛んになり、仕事帰りに買い物を済ませるようになってしまったこと、近隣都市の三宮や西宮、大阪に消費の中心が移ったことなど様々な要因で商店街内での消費の落ち込みシャッターをおろしている店舗も目立つようになった甲南本通商店街をさらに活性化させるため。

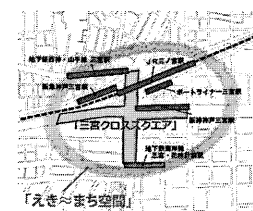
第3章 町おこしを目的としたイベント例

第1節 神戸三宮駅周辺駅まち空間プロジェクト

以下の文章は、は神戸市が行っている三宮駅周辺の再開発プロジェクトの内容である。

駅待ち空間とは、「えき」（6つの駅とバス乗降場）と「まち」をつなぐ空間を「えきまち空間」と名付け、誰にとっても使いやすい、神戸の玄関口にふさわしい空間として整備します。また、「えきまち空間」の核として、三宮交差点を中心に税関線（フラワーロード）と中央幹線の一部において、人と公共交通優先の空間「三宮クロススクエア」を創出します。

「えきまち空間」のイメージ



駅まち空間の目標像

- 三宮の 6 つの駅があたかも一つの大きな「えき」となるような空間

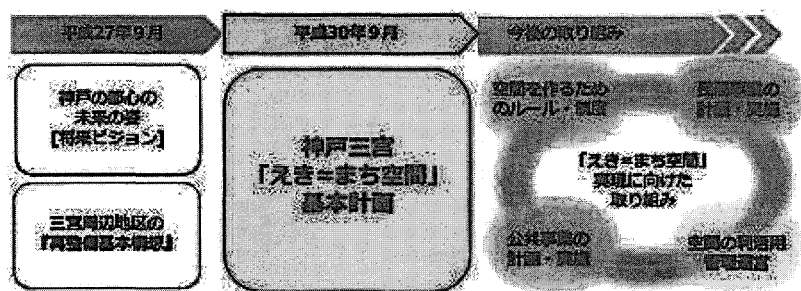
- ・ 「えき」と「まち」が行き来しやすく、より便利で回遊性を高める空間
- ・ 美しき港町・神戸の玄関口にふさわしい象徴となる空間

神戸市「えきまち空間」基本計画の制定

「えきまち空間」の実現には、目指すべき姿を共有し、行政と民間事業者が今後整備する施設や公共空間について、相互に空間計画を調整し、設計に反映させていくとともに、その空間をどのように利活用、管理運営していくかが重要です。

そのため、「三宮クロススクエア」をはじめとする公共施設の計画や、民間施設に期待される機能や設えなどについて、官民共通の具体的な目標像及びその実現に必要な取り組みを示すことを目的に基本計画を策定しました。

神戸三宮「えきまち空間」基本計画の位置付け



今後、神戸三宮「えきまち空間」基本計画に基づき、神戸の玄関口にふさわしい空間の創出を目指し、公共空間に備えるべき役割や機能、周辺建築物のあり方等の景観形成の考え方を示す「景観デザインコード」を策定します。

景観デザインコードは、「公共空間」、「建築物」、「夜間景観」、「屋外広告物」の4つの視点のもと、「景観形成方針」、「景観形成方針」、「ガイドライン」により構成するものあり、令和元年10月に、コンセプトとなる景観形成方針を策定しました。

今後、本方針の考え方のもと、法令に基づく行為の制限事項等の「景観形成基準」や基準化になじまない誘導事項等の「ガイドライン」を策定する予定です。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a55197/shise/kekaku/jutakutoshikyoku/kobetoshin/eki-machi/index.html> 2020/01/29 閲覧

神戸市ではこのような取り組みが市を挙げて行われており、官民共通の具体的な目標像及

びその実現に必要な取り組みを示すことを目的に作成されている。

第2節 御影バル

以下の文章は、阪神御影駅周辺で行われている地域活性化活動のイベント内容である。今回の研究でイベントを企画するにあたり、参考とした。

御影バルとは、平成26年度兵庫県活性化プラン支援事業及び神戸市応援隊事業の支援を阪神御影商店会が受けて計画され、平成27年度神戸市地域商業活性化支援事業を足がかりに同商店会を母体に商店会員内外の有志で御影全体の地域活性化に資するために組織されたのが始まりの地域活性化運動のうちの一つである。2019年には、第4回御影バルが11月8日から10日にかけて開催され、お得な前売りチケットも発売されている。第4回御影バルには、80店舗が参加し、飲食業だけでなく、物販店、ヨガやマッサージ店もある。また、阪神御影周辺は南に酒蔵、駅前には商店街、市場、ショッピングセンターなど阪神沿線でも賑やかで都会的な界限を形成しています。そして「御影」という地域ブランドを持っています。そんな「御影」に皆さんに来ていただき、食べ歩きだけではなく物販やサービスも楽しめます。「御影」の魅力をもっと多くの方に知っていただきたい思い込めた地域イベントです。

https://mikage.in/bar_main/ 2020/01/29 閲覧

第3節 沼島フィールドワーク

最後に、過疎地域の現状とその生活システムを自らの目で確認し、学習するために兵庫教育大学の南塾教授と奈良教育大学の河本教授を本研究担当教諭の高木優先生を介して紹介していただき、令和元年度の8月27日から29日にかけて3日間行うフィールドワークの初日の1日だけ参加させていただく形で、兵庫教育大学の研究チームとともに淡路島でフィールドワークを行わせていただける運びとなった。27日当日の朝は三宮発のバスに乗り、途中の道の駅で下車し、南塾先生の車と合流し、沼島行きのフェリー乗り場に向かった。フェリーに乗り20分ほどかけて沼島に到着した。船着き場の待合室で事前に決めていた3グループ(1グループ4人から5人のグループ)に分かれ、それぞれ今日調査をする場所とその場所に決めた理由、調査目的を発表、共有した。また、その日はグループごとに分かれてのフィールドワークは実施せず、3グループで固まって調査を行った。フィールドワークの方法は徒歩で沼島内の調査地に向かい、各自で散策をした後、その場所で集まってその調査地を提案したグループがその場所についての解説を行い、フィールドワークを行う以前の課題についてフィールドワークを行ったうえで分かった調査結果を発表しその後、その他のグループが気づいたことや各自の疑問などを共有し、次の日以降のフィールドワークの調査課題とした。(私は1日目だけの参加のため次の日以降のフィール

ドワークには参加していない) 以下の写真は沼島の街中にあった島内の案内図である。



また、調査地として 27 日に行った場所は以下のとおりである。

- ・1「島内にある防波堤の役割」
- ・2「沼島内にある寺について」
- ・3「地図上に見られるため池らしきものは本当にため池なのか」

上記の順番に訪問した。以下はその結果である。

「島内にある防波堤の役割」

沼島では漁業などの 1 次産業が主流であり島内には沼島漁港があり、いくつかの港と浜辺があり、いたるところに堤防が見られ、未だ建設中のものもあった。しかしどれも膝丈程度の高さで本当に津波の伴う地震が発生した時の防波堤の役割を果たすのかについては疑問が残った。

「沼島内にある寺について」

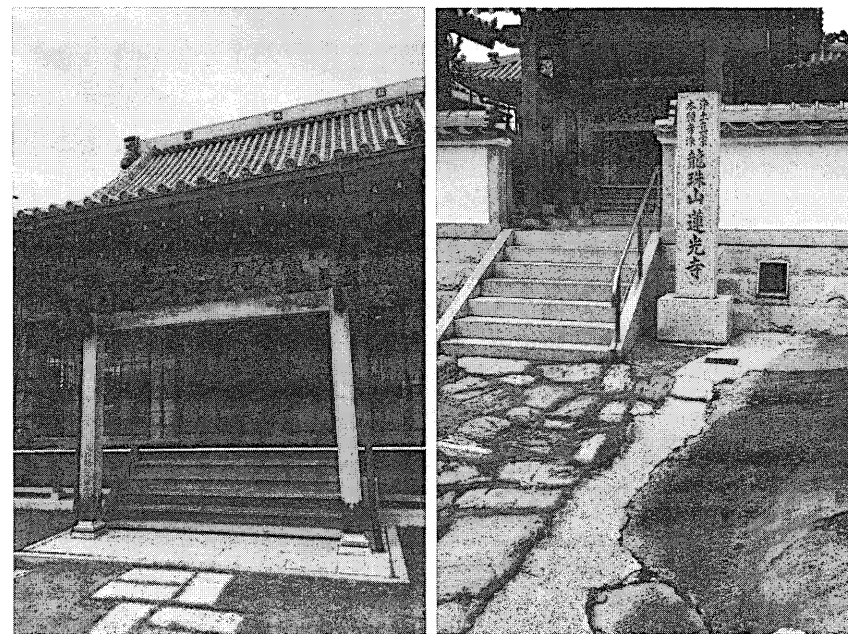
沼島城跡に蓮光寺がある。現在は寺となっているが、昔は城だったことについてその周辺地域の遷移や時代背景について蓮光寺の資料、建築様式、装飾、遺跡、碑、隣の墓地などを観察した。以下の文章は蓮光寺の公式サイトより引用した蓮光寺の歴史的背景である。

碑文によると、平安時代の承平天慶年間（931～946）の頃、武嶋五郎秀之がこの城の城主として住んでいたが、天慶 4 年（940 年）藤原純友の乱のとき騎馬 186 頭をひきつれ博多の海戦に出陣するも戦死。その後寛喜・建長年間（1230～50 年）頃、梶原景行（梶原源太景季

の甥）が居城としていた。また暦応 3 年（1340 年）新田義貞の弟脇屋義助は、熊野の海賊の兵船 300 余隻で淡路の沼島に渡り、淡路の志知庄を所領としていた安間・志知・小笠原の一族に厚く迎えられ、そこから備前・児島に無事到着した。天正 9 年（1581 年）梶原秀景が城主の時、織田信長の四国征伐の折、羽柴秀吉に味方した阿波・三好康長に攻められて滅ぼされた。元和元年（1615 年）江戸幕府の一国一城令により沼島城は廃城となった。その後、天明元年（1781 年）この場所を 5. 5m 削って蓮光寺を移転した。

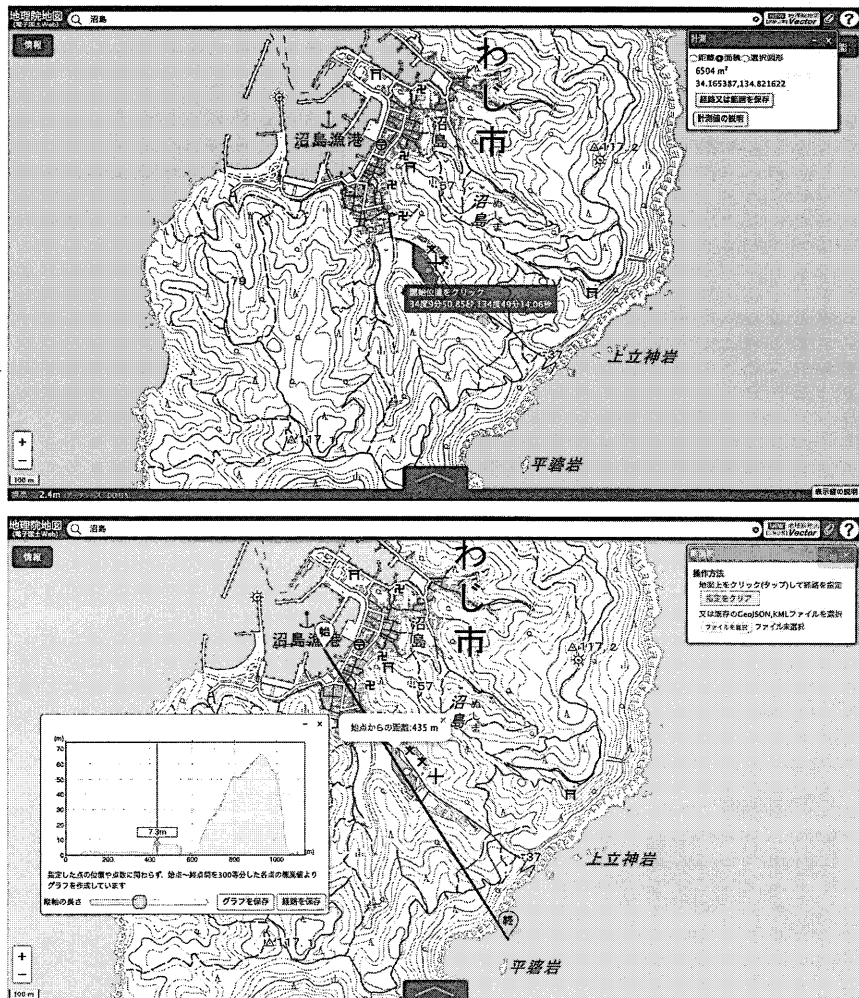
<http://efini96.sblo.jp/article/61512141.html> 2020/01/29 閲覧

以下実際に行って撮影した、蓮光寺の境内の様子である。



「地図上に見られるため池らしきものは本当にため池なのか」

以下の写真は、地理院地図より引用したものである。



<https://maps.gsi.go.jp/#5/36.104611/140.084556/&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f1>

2020/01/29 閲覧

1 枚目の写真の通り、沼島中心部には広さ約 6500 平方メートルの池がある。そこに溜まっている水は誰かが故意に貯めた淡水なのか、または海の水が逆流して溜まった海水なのか。またその水の役割とは何なのかについて考えた。2 枚目の写真からわかる通り、ため池の地点の標高こそ 7 メートルであるものの、海からため池まではそれほど高低差がなく、海に続く側溝に海水に生息している貝なども見られたため海水が一部逆流したものではないかな

どの議論もあった。1 日のフィールドワークが終了した後、南塾先生には以下のレポートを提出し感謝と感想を伝えた。

沼島フィールドワークを経て
神戸大学附属 5 年 1 組 4 番稲垣颯太
令和元年 8 月 29 日木曜日に兵庫教育大学の南塾先生、吉水先生、坂上先生、学生の皆様の協力を頂き、淡路島経由で沼島に行き沼島フィールドワークに参加させていただきました。
フィールドワークでは、「地図上に見られるため池らしきものは本当にため池なのか」、「沼島内にある神社について」、「島内にある防波堤の役割」の 3 つのテーマについて調査を行いました。「ため池は本当にため池なのか」の調査では、ため池が側溝を経て海に繋がっていたため、ため池の水が淡水なのかそれとも海水が逆流しているのかという問いが立ち、側溝にある貝や、ため池の海拔などから考察し、またその役割についても考えることができました。また、南塾先生のお話では「淡路島と沼島の間にプレートの境があり、それによって淡路島には山脈がある」など大学の先生の本格的な地理学のお話に触れることができ、大変感銘を受けました。今回沼島に行き、フィールドワークの方法や着目すべき点について学び体得することができました。今後は地元の甲南商店街もしくは、御影旨水館でフィールドワークを行い自らの研究につなげていきたいと思っています。最後になりましたが、高校生でありながらも大学のフィールドワークに参加させていただくことは私の研究スキルの向上において大いに役立ちました。ご協力頂いた先生方、学生の皆様に感謝いたします。

第 4 節甲南本通り商店街の歴史と概要説明

以下の文章は甲南本通商店街のホームページから引用した同商店街の歴史である。

昭和 10 年、商店街ならびに阪神国道に面する一部商店有志によって結成され、その後戦争によって休眠中の甲南商栄会（会長 天川国太郎氏、会員数 30 名）を改組。23 年 4 月「甲南本通商栄会」と改称し、会員資格を商店街居住者に限定、会員数 20 名で会長、天川国太郎氏により発足した。当時は商店街といってもまだ戦火の跡まなましく商店画の半分は空き地であった。26 年 8 月、簡易アーケードを完成。28 年、新甲南市場完成とともに、両翼に市場を抱くかっこうとなり、商業活動もまたしだいに活発化し、ようやく東神戸の商店街として脚光を浴びようになる。30 年 10 月、二階建てモルタル建築、建坪 80 平方メートルの商栄会館（集会所、事務所）を完成。35 年 11 月、甲南本通商業協同組合を創立し、商栄会のすべてを引き継ぐ。代表理事は速見佐一郎氏、会員数 47 名、出資金 222 万 1 千円であった。38 年 7 月、甲南本通商店街振興組合に組織を変更する。同年 9 月、簡易アーケードを撤去し、鉄骨による耐震耐火のアーケードを完成した。これは全長 208 メートル、工費は 2 千万を要したが組合員の全幅の協力で雨の日にも安心して買い物ができる商店街へと発展の度を加えたしだいである。平成 7 年 1 月の阪神淡路大震

災には、アーケード及び商店が全壊するも、すぐさま復興事業に着手する。まず瓦礫の商店街一体撤去にかかり、同 8 年 3 月にはアーケードの修復工事を完了する。その間建設中であった立体駐車場が平成 7 年 10 月完成。同時に商店街近代化事業、高度化事業に取り組み、平成 10 年 11 月に「カラー舗装」が完成。組合員店舗の再建も出来、ほぼ震災復興を成し遂げる。



J R 摂津本山駅から南西に約 1 キロ。200 メートルほどのアーケードに約 50 店が整然と並び甲南本通商店街には、新しい店舗が目立つ。1995 年の阪神大震災を機に、街並みも客層も様変わりした。商店街の西尾静夫理事長（67）は「震災で約 7 割の店がつぶれ、ここまで復興するのはしんどかった」と振り返る。かつては甲南、新甲南の 2 市場があり、活気にあふれていたが、震災で両市場とも壊滅した。甲南市場は戦前からの歴史に幕を下ろしたが、新甲南市場は 8 階建ての共同ビルに生まれ変わり、97 年に再開業した。商店主らが共同で設立したスーパー「KONAN 食彩館」が 1 階にあり、2 階以上は住宅となっている。スーパーは買い物客でにぎわい、商店街の復興のシンボルとなっている。

<http://www.konan-hondori.com/history/> 2020/01/29 閲覧

第 4 章 方略

第 1 節 イベントの企画

商店街を発展させるためには、まずたくさんの方に商店街を知っていただき、足を運んでいただく必要がある。それに加えて、日頃から商店街をご利用くださっている方がこれからも利用し続けたいような空間である必要がある。人を集め、その楽しさや良さを知ってもらい、さらに良い空間とすることでいつも利用して下さっている人もそうでない人にもこれからも利用し続けてもらうことを目指すという点では、御影パルや駅まち空間も共通の目的があるように思う。そこで、まだ商店街を利用しとことのない人や利用回数の少ない人たちに商店街を知っていただき、足を運んでいただくためには、商店街に行くきっかけがあればいいと考え、普段商店街で買い物をする機会の少ない子供たちにたくさんきてもらい、商店街を利用していただき、商店街が散歩道としての役割でしかない人たちにも商店街ではこういったイベントもしている地域に根差した施設であるということを知っていただくために 12 月にクリスマスに関連したイベントを企画した。

第 5 章 実践

第 1 節 企画立案

商店街でイベントを企画、実行するにあたって、甲南本通り商店街振興組合に協力と実施の許可を仰いだ。まず初めに、甲南本通り商店街振興組合の理事長である、速見さんにお会いし、挨拶をしようと甲南本通り商店街に伺ったが、その日は速見さんがお店の商品の買い付けに行かれているためお会いすることができなかった。そのため、速見さんと同じお店で働いている奥さんに事情を説明し、理事長の電話番号を教えていただいた。その後、教えていただいた電話番号に電話をして、お会いしていただける日程を聞き、後日再びお店に伺った。その際に、理事長に今回の研究のテーマと趣旨を説明し、イベントを企画し実行することで商店街の活性化を図るという方向性に同意を得た。その日に、3 日後にイベントの企画草案を速見さんに提出し、確認していただく約束をした。3 日後に速見さんの経営する「ハヤミガーデン」の営業後の時間に伺わせていただき、以下の「イベント実施にかかるご協力をお願い」という題で企画内容の草案を提出し、企画内容に関しての意見をいただいた。そのうえで、特に大きな問題点や変更点がないため、以下の文章をそのまま毎月第 2 火曜日に振興組合の会館で開催される理事会へ提案することの許可をいただいた。

イベント実施にかかるご協力をお願い
神戸大学附属中等教育学校 5 年 稲垣颯太
朝夕は寒気がひとしお身にしみるようになりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
さて、この度私事ではありますが高校の卒業を来年に控え、現在「町おこし」をテーマに、卒業研究に勤しむ日々を過ごしております。そこで研究の一環として、甲南商店街で以下のイベントの実施を検討しております。地元にも古くから営業されている歴史ある甲南商店街の末長い繁栄と地元の方々のお力になる事が出来れば幸いです。
目的：地域と商店街の結びつきをより強くし、さらに元気な商店街づくりを目指す

イベント内容：
（案1）『甲南商店街ご利用感謝スタンプラリーイベント』
手順1：商店街内のお店3店舗以上で商品をご購入いただく。（金額設定などは後日検討）
手順2：来街者をご購入いただいたレシートを持参していただき、商店街内に設置予定のイベント主催デスクでスタンプの台紙とスタンプ設置店舗案内図の2枚と交換する。
手順3：交換した地図に基づき、商店街内の店舗を回りスタンプを集める。
手順4：全てのスタンプが押された台紙をイベント主催デスクまで持参し景品と交換。
準備物（暫定）
・スタンプ 台紙120枚 ・案内図120枚 ・長机 ・案内用チラシ200枚
・景品
概算費用（暫定）
・コピー代12400円（案内用カラーチラシ200枚×50円、台紙120枚×10円、案内図120枚×10円）
・景品2000円程度
（案2）『甲南商店街でクリスマスの写真を撮ろう』
手順1：商店街内のお店3店舗以上で商品をご購入いただく。（金額設定などは後日検討）
手順2：来街者をご購入いただいたレシートを持参していただく。
手順3：商店街内に設置するイベントブースに隣接して設置された机の上でクリスマスツリーに飾る装飾品などを商店街に来て下さった方たちに制作していただく。
手順4：作った飾りを設置したツリーに飾り付ける。
手順5：完成したツリーの前で写真を撮る。
準備物（暫定）
・装飾品（折り紙など）・長机 ・案内用チラシ200枚
概算費用（暫定）
・コピー代10000円（案内用カラーチラシ200枚×50円）
・装飾品1000円程度

その後、11月12日火曜日の理事会に参加させていただき、振興組合の組合員の皆様の前で再び、今回の研究のテーマと趣旨を説明し、イベントを企画し実行することで商店街の活性化を図るという旨を説明し、質疑応答の時間を設けた。その場で出た質問は以下のとおりである。

＜組合員の皆様からの質問内容＞

- ・イベントの実施予定日である年末は各お店の稼ぎ時であるため組合員や商店街の従業員からイベントのためのスタッフとして人員を割くことが出来ないがそれでも良いか。
- ・案1、2で、商店街に立ち寄ってくださった方の中で一定の額以上を購入された方のみにスタンプラリーの台紙を渡し、スタンプを集めてもらうというルールとなっているため、経済的な利益を先にイベントの参加資格としてお客様に求めているため、地域に密着した商店街として地域貢献の役割を軽視しているのではないか。イベントを企画するならもっとすべての人たちに開かれたものであるべきではないか。
- ・食品衛生の観点から、景品は何を考えているか。例えばアレルギーなど。
- ・予算の負担額の割合はどのように考えているか。

＜質問に対する回答＞

- ・スタッフの数についてはこちらで賄える規模の企画にするつもりです。
- ・そういう考え方がなかったため、企画の細部を詰めていく中でその点には十分の配慮をします。
- ・景品に関してはアレルギーや小さい子供の誤飲などに最大限配慮し、安全なものを考えます。
- ・予算の負担割合に関しては商店街と私で半々にしていただきたいと思います。

以上の質疑応答を終え、私が退席したうえでイベントの開催の是非について採決を採っていただき、後日速見理事長から理事会での採決の結果イベントの開催が決定し、イベント内容は、案2が採用されたこと、予算に関しては、振興組合と私で半分ずつの負担にする旨をご連絡いただいた。

第2節 準備

12月の第1週目に学校の定期試験があったため、理事会が終わってからテストまでの2週間はほとんど作業が進まなかった。その2週間の間には、最初に理事会に参加した時の質疑応答で指摘された点について再考した。その結果、企画内容を一部変更した。変更した点は、「案1、2で、商店街に立ち寄ってくださった方の中で一定の額以上を購入された方のみにスタンプラリーの台紙を渡し、スタンプを集めてもらうというルールとなっているため、経済的な利益を先にイベントの参加資格としてお客様に求めているため、地域に密着した商店街として地域貢献の役割を軽視しているのではないか。イベントを企画するならもっとすべての人たちに開かれたものであるべきではないか。」という問題点があるが、振興組合に予算を半分負担していただいているため、商店街側に経済的な利益が生まれるべきである考え、金額設定をなくして、商店街内の店舗で購入したレシート1枚を提示していただくことを改善案とし、イベントの参加条件として設定した。また、「食品衛生の観点から、景品は何を考えているか。例えばアレルギーなど。」に関しては、参加していただいた方々に個別に対応することがイベント開催中に対応できるスタッフの数を考慮すると難しいと考えたため、景品をなくし、イベントに参加して、ツリーの前でサンタクロースの変装をしたスタッフと写真を撮ることで景品とした。テスト終了後は、12月10日の

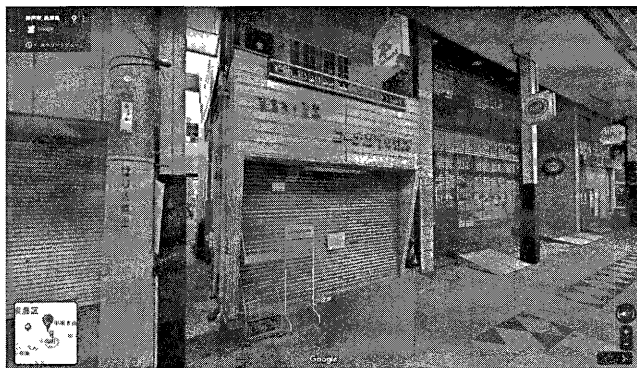
理事会で経過報告の資料を提出した。それが以下の資料である。

イベント内容に関しての経過と最終目標の報告
神戸大学附属中等教育学校 5年 稲垣颯太
・現状報告
現在案内用のチラシの作成中。また、チラシの部数は先月の理事会でお配りした案の通り 200 部とする。
・今現在の決定事項
実施日: 12 月 21 日 土曜日
準備物: ・装飾品 (折り紙、風船など) ・長机 ・案内用チラシ 200 枚 ・タコ糸
・現時点での確定予算
案内用チラシ 200 枚分のコピー代。装飾品 (3000 円程度)
・懸案事項
1. 企画で使用するツリーについて
(案 1): ツリーは家庭用のツリー (100 cm 程度のもの) を使用する。
長所: 画用紙よりは本格的。画用紙のように制作する必要がないので制作、設置が容易。
短所: 持ち運びをする際に多少、支障をきたす。折り紙で飾り付けをする際ツリーに取り付けるのにタコ糸を通す必要がある。
(案 2): ツリーは画用紙で制作した物を休業中の店舗のシャッター又は壁に貼り付ける (画用紙の裏は段ボールで補強する。)
長所: サイズを自由に決められる。折り紙で飾り付けをする場合、テープで貼り付けるため容易に行える。
短所: 制作、設置に時間がかかる。強度に多少の不安がある。
2. 企画内容の細部について
(原案) 手順 1: 商店街内のお店 3 店舗以上で商品をご購入いただく。(金額設定などは後日検討)
手順 2: 来街者をご購入いただいたレシートを持参していただく。
手順 3: 商店街内に設置するイベントブースに隣接して設置された机の上でクリスマスツリーに飾る装飾品などを商店街に来て下さった方たちに制作していただく。
手順 4: 作った飾りを設置したツリーに飾り付ける。
手順 5: 完成したツリーの前で写真を撮る。
(改訂案) 手順 1: 商店街内のお店で購入していただいたレシートを提示していただく。

手順 2: ツリーの飾りを制作していただく。
手順 3: ツリーに飾り付けを終えた後写真を撮って景品 (風船など) を渡す。
* 改訂のねらい
原案では、参加条件として、「商店街内のお店 3 店舗以上で商品をご購入いただく。」とし、金額設定は後日検討としたものの、先日の理事会でご指摘いただいた通り各店舗で商品の値段に差があるため、一定金額以上の購入というルールで一括りにすることは困難であると考えた為。又、今回のイベントの趣旨は、「地域と商店街の結びつきをより強くし、さらに元気な商店街づくりを目指す」である為、より多くの地域の方に参加していただく為よりオープンなものとする必要があると考えた為。しかし、振興組合に予算を半分負担していただいているため、商店街側に経済的な利益が生まれるべきであると考え、金額設定をなくして、商店街内の店舗で購入したレシート 1 枚を提示していただくことをイベントの参加条件とした。
3. 実施場所について
ツリーの形態 (上記案 1、案 2 を参照) によって異なる為、現時点では不確定。
4. イベントに関する最終決定事項
・企画内容
甲南本通商店街にお買い物に来ていただいたお客様に対して商店街内の店舗で購入したレシートを 1 枚ご提示していただき、それと引き換えに商店街中央に設置した特設コーナーにて折り紙にクリスマスに欲しいものの絵を書いていただき、絵の形を切り取って特設コーナーに設置したクリスマスツリーに貼り付け、装飾していただいた上、希望があればサンタクロースのコスチュームをした係員と写真撮影することも可能。また、事前に配布したチラシ、またはイベントブースに置いてあるチラシに塗り絵をする塗り絵のブースも設置予定。
・企画目的
周辺地域では、駅の近くにスーパーが新たに誕生し又、三宮や西宮、大阪など近くの中心都市に消費の中心が移ってしまった為、商店街内での消費が落ち込み、シャッターをおろしている店舗も目立つようになった。そこで商店街の活性化と地域に根差した商店街になるために地域の方々との触れ合いを目的とした。
・最後に
前回の理事会においてイベント実施と予算補助に関する許可して頂きありがとうございます。加えて、企画の趣旨、実施に至る経緯を踏まえご協力をいただいた理事会の皆様にご感謝いたします。商店街の活性化に向けて精一杯の努力をしていく所存ですので、よろしくお願いいたします。

この資料を提出した際、私は習い事があったため理事会に参加出来なかったのですが、理事会での会議の内容を後日速見さんに電話で教えていただいた。また、その時の電話で、振興組合で商店街のイベントを企画運営するイベントの担当の方を紹介するので来てほしい、と言われたので、後日速見さんのお店に伺い、イベント担当の坂上さんをご紹介いただい

た。その場で坂上さんと連絡先を交換し、その日からイベントの開催日までにもう理事会が開催されない為、イベントの企画内容に関しては坂上さんと相談するように言われた。その日はそこでお仕事に戻られたので、また後日、坂上さんとイベントの開催場所と詳しい日時について相談をした。その結果、甲南本通り商店街で最も人通りの多い食彩館というスーパーと百円均一のお店、CANDOの間にある以下の写真の空き店舗の前をイベントの開催場所として決定した。



<https://www.google.co.jp/maps/dir///@34.7159634,135.267031,1357m/data=!3m1!1e3!4m2!4m1!3e3> 2020/01/29 閲覧

また、イベントの開催時間は相談の結果、朝の11時から15時までという事に決まった。最後に上記の「イベント内容に関する経過と最終目標の報告」の題の資料の「懸案事項」の欄に書いてある通りツリーの形態について相談をしたところ、振興組合としてどちらの方がいいという事はないが、イベントに参加してくださる方たちの年齢は、小さい子供たちが多いように思うので、ツリーの高さは少し考えた方がよいかもしれないと言われ、持ち帰って考えることにした。ツリーの形態に関してはまず2つの選択肢がある。本物のツリーを用意するか、ツリーを手作りで自作するかである。本物のツリーを用意した場合、一般的な飾り付けは飾りの上部に穴が開いていてそこに紐が通してあり、その紐をツリーの枝に引っ掛けるというものが一般的である。しかしこのイベントの飾りは、小さい子供たちでも簡単に飾り付けができるように折り紙を使用するため、折り紙に毎回穴を開けて、紐を通さなくてはならず、少し複雑になってしまう。そこで今回の企画では、ツリーを2次元で制作し表面に飾り付けをテープで貼っていくという方法を採用した。そこで次の課題が出てきた。3次元のツリーならば地面に立たせて自立させることが可能だが、ツリーを2次元で制作すると、自立させることが困難である。ツリーを自立させないとして、制作したツリーを空き店舗のシャッターに貼り付けて固定するという方法もあったが、ツリーの背景がシャッターになると、いくら高校生の企画したイベントとはいえ、クリスマスの企画として不自然さが際立ってしまう。そこで考えたのが、シャッターにまずクリスマスらしい装飾を施した垂れ幕をかぶせ、その垂れ幕に制作したツリーを固定するというものである。シャッターの不自然さがなくなり、この計画でうまくいきそうに思わ

れたが、シャッターの上部に垂れ幕を引っ掛けて固定する突起物がないこと、2階が民家であるため、あまり上に設置してしまうと迷惑がかかってしまう恐れがあるので、この方法でツリーを自立させることができなかった。最後に考案したのが自宅にあるスリッパ立てと釣り網を用いて自立させる方法である。ツリーの制作方法については後の「ツリーに制作手順」で詳しく記述することにするが、この方法によって、2次元で制作したツリーが問題なく見事に自立したのである。次に、企画に使う備品の買い出しを行った。イベントのために購入した材料は以下の通りである。

・セメダイン木工用ボンド・モール・画用紙（黒1セット、緑3セット、それぞれ1セット8枚入り）・空気入れ・風船・折り紙・マジックペン・色鉛筆・サンタクロスセットの計9種類17点でかかった経費は、合計2857円であった。次に、このイベントの目玉であるツリーの制作に取り掛かった。ツリーの制作方法は以下の通りである。

<ツリー制作の手順>

1. 近くのスーパーでダンボールを分けてもらう。
2. 購入した緑色の画用紙を横4枚縦3枚の長方形に並べて裏面をテープで隙間なく留める。（画用紙は、たて363mmよこ257mmの大きさで、画用紙を並べてできたツリーの草の部分の大きさは、たて約109cmよこ約103cmであった。）
3. 2で制作した長方形の緑の紙の表に鉛筆でツリーの概形を下書きし、その上をハサミで切る。（この時にツリーの左右の対称性に十分に注意を払う。）
4. 黒色の画用紙でツリーの土台（植木鉢の部分）を制作する。大きさは、2枚の画用紙を横向きにしたものをのりしろができるように長辺同士を少し重ねて裏面をテープで貼り付けた。たての長さが約42cmよこの長さが約36cmであった。
5. 3、4でできたツリーの本の部分と土台部分の裏面をテープで貼り付ける。
6. 完成したツリーの画用紙の裏面の縁にボンドを塗り、ダンボールをはみ出す大きさに貼り付ける。
7. 乾燥させた後、はみ出した部分のダンボールを切り取る。
8. ツリーの表面に購入したモールなどの装飾品を飾り付ける。
9. ツリーを自立させるために、まずスリッパたての中央に釣り網の棒の部分のみを取り付け固定する。
10. 9で制作した棒にツリーの背面をテープで固定しツリーが完全に自立し、完成する。

ツリーの制作と同時並行でチラシの作成に取り掛かった。このイベントは、「これまで商店街を知らなかった方や、あまり利用されてこなかった近隣の方達に商店街ではこういったイベントもしている地域に根差した施設であるということをお知らせしていただく」という目的もあるため、単に何の告知や宣伝もなくイベントを実施したのでは、普段から商店街を利用して下さっている方達にしか商店街に来てくださらないので、イベント実施の宣伝広告用のチラシが必要であると考えた。チラシには、日時、場所、甲南本通商店街へのアクセスの仕方、簡単な企画内容の説明を書き込んだ。そして、近隣の幼稚園に印刷したチラシを配った。イベントの開催のお知らせと告知のためのチラシを置かせていただく許可を

いただくために幼稚園に電話をし、最終的に魚崎幼稚園さんと甲南すこやかこども園さんに置かせていただけることになり、それぞれ 30 部程度ずつを置かせていただいた。最後に、前日の夜に印刷したイベントブースに張り付けるチラシの色塗りをした。

第3節 当日の様子

当日は、朝の 11 時からイベントが始まるため 10 時 15 分に甲南本通り商店街に到着した。家から甲南本通り商店街まではツリーが大きすぎて持ち運べない為、車で移動した。到着するとまず、振興組合でイベントの企画担当をしている坂上さんと振興組合理事長のところへあいさつに行った。その時にイベントの間、振興組合の事務員さんがサポートをして下さることが急遽決まったことを知らされた。その後理事長と一緒に会館まで行き、長机といすの運び出しを行った。そこからは事務員さんと会場設営をして、11 時に開始できるように最後の準備をした。11 時になって、無事開始することができた。土曜日の昼時という事もあり、人通りはそれなりにあった。はじめの参加者の方が来て下さるまではブースの前に出て商店街にお買い物に来てくださっている方たちに声をかけて呼び込みをした。最初に来て下さったのはお子さんが 1 人の 3 人家族だった。商店街の中央でイベントをやっていることに気づき、参加してくださった。企画の趣旨と手順を説明し、レシートを預かって、お子さんがクリスマスにサンタさんにほしいものの絵を色紙に書いて型取ってツリーに飾り付けをしてくれた。11 時 30 分ごろに同じクラスの石坪さんが手伝いに来てくれたため、そこからは事務員さんと 3 人体制でイベントを運営した。お客さんは順調に来て下さり、午前中の 1 時間で 40 人程度のお客さんがイベントに参加していただいた。お昼の時間になると私と事務員さんと石坪さんと交代で昼休憩をとった。その間にお昼ご飯を商店街の中の飲食店で済ませて、イベント会場へと戻った。昼時が過ぎた 2 時から 3 時は商店街の人通りが少なくなり、だんだんお客さんも減ってきた。結果的に夕方 15 時までに合計で 167 人の方に参加していただいた。イベント終了後はブースの片づけをして、長机といすを会館に戻した。その後お世話になった理事長、坂上さん、事務員の方にお礼とあいさつをしてイベント終了とした。小さなお子さんは自分でほしいものが言えなかったり、書けなかったりするので親御さんが代わりに書いていたりする場面もあった。イベントに参加していただいたお客さんは、子供連れの家族が多く、男の子はカードゲームやテレビゲーム、スポーツ用品などが多かった。女の子は洋服や靴、カバンなどが多くみられた。また、子供連れだけでなく、大人だけでも参加していただいた。大人の方々は、クリスマスにほしいものとして具体的な物や商品ではなく、時間や長い寿命、このような社会になってほしい等、抽象的な物や願いが多くみられた。以下の写真は一枚目が当日開始前の様子。二枚目が開始 20 分の様。三枚目がイベント終了時の片付けの様子である。



第6章 結果および考察

第1節 結果

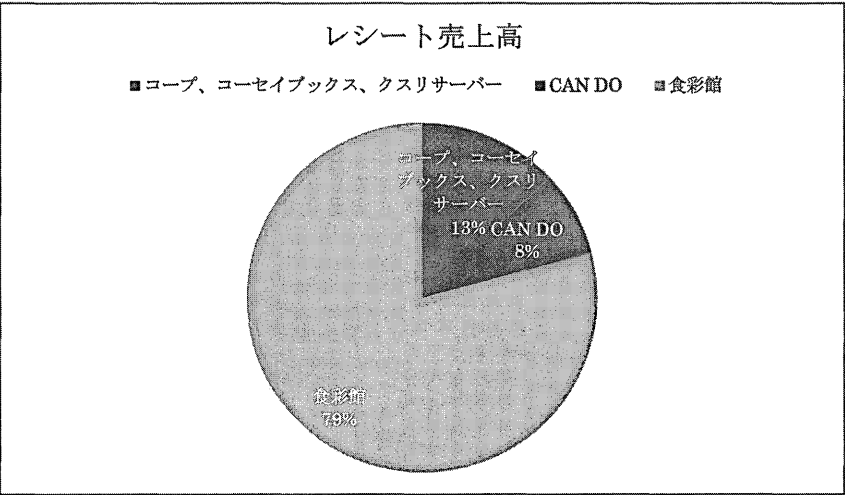
11 時から 15 時までの計 4 時間で合計 167 人もの方にイベントに参加していただいた。この数は、子供連れの家族の場合、お子さんが飾り付けをした親御さんはその様子を写真で撮ったりしていたため、直接折り紙にクリスマスに欲しいものを書いて飾り付けをしていただいた人数ではなく、その家族や友人など一緒に商店街に来て下さった人数でカウントしている。レシートの数も組合員さんの希望もあり、できるだけ開かれた企画として欲しいとのことだったので、1 人につき 1 枚ではなく、1 グループにつき 1 枚の提示とした。その結果、イベント終了時には、72 枚の折り紙が飾り付けとしてツリーに飾られていた。描かれていたクリスマスに欲しいものは以下の通りである。

・熊のぬいぐるみ・靴・ポケットモンスターのゲーム・レゴのスペースシャトル・ブリキのフィギュア・アンパンマンのおもちゃ・アンパンマンのお菓子・犬・洋服・任天堂スイッチのコントローラー・ハムスター・ミニカー・リボンのついた鞆・お尻探偵の本・おりけし・お菓子・リュック・絵本・お金・時間・余裕・精神力・健康・平和な日々・睡眠時間・愛・勇氣・飛躍・安倍総理大臣の辞職・その他 20 個の幼児の子の書いた絵であった。子供は具体的なモノで大人は抽象的なモノという特徴がはっきりと出ていた。また、このようなクリスマスのイベントに参加することを恥ずかしがる大人の方もいらっしゃるが、勧誘をして参加して下さった大人の方たちも自分たちの欲しいものを考えたりしてとても楽しそうだった。年配の夫婦の方がお互いの健康と長生きがいま欲しいもののだと言い、書いていたのがとても微笑ましかった。

また、レシートの集計結果は以下のグラフと表の通りである。

<レシート合計金額>

店名	購入合計金額	レシート合計枚数
コープ、コーセイブックス、クスリサーバー	10996 円	8 枚
百円均一ショップキャンドゥー	6710 円	25 枚
食彩館	67364 円	23 枚
合計	85070 円	56 枚



イベントのブースが食彩館と百円均一ショップキャンドゥーの間であったことから、どちらかの店で買い物を済ませてからイベントに参加してくださる方が多く見られた。また、忙しくて絵を描いて切って貼る時間がないので机の上に置いてある塗り絵だけが欲しいとおっしゃる方もいた。時間のある方の中には、ツリーに飾り付けをした後、サンタクロースの服を着たスタッフとツリーの前で記念撮影をして、長机の上でチラシに色鉛筆で塗り絵をして楽しんでいたりお子さんもいた。サンタクロースの衣装は評判が良く、大抵の子供は飾り付けを終えた後、ツリーの前でサンタクロースと一緒に記念撮影を行った。このイベントを実施するに当たってかかった経費が 2857 円であったことから考えても、このイベントを企画運営したことによってこの商店街に大きな経済的効果があったことは明らかであった。また、イベントに参加してくれた方達の中にはたくさんの子供たちが含まれていることから、このイベントは単なる経済活動にとどまらず、商店街の地域貢献事業と

しても大きな役割を果たしたと実感している。商店街が街に、その土地に根差し、そこに住む人たちと共に商店街も発展していく。このようなイベントを通じて住民と商店街の結びつきがより強くなり、今回参加してくれた子供たちが大きくなったときに幼少期に過ごしたこの商店街にまた戻ってきて、その子供たちが街の商店街を支え続けるきっかけになることを願っている。また、イベント終了後に理事会に以下の「イベントに関する結果報告書」を提出した。

イベントに関する結果報告書
神戸大学附属中等教育学校 5 年稲垣颯太
・当日の様子
11 時から 15 時までの計 4 時間で合計 167 人もの方にイベントに参加していただいた。この数は、子供連れの家族の場合、お子さんが飾り付けをした親御さんはその様子を写真で撮ったりしていたため直接折り紙にクリスマスに欲しいものを書いて飾り付けをしていただいた人数ではなく、その家族や友人など一緒に商店街に来て下さった人数でカウントしている。その結果、イベント終了時には、72 枚の折り紙が飾り付けとしてツリーに飾られていた。描かれていたクリスマスに欲しいものは以下の通りである。
・熊のぬいぐるみ・靴・ポケットモンスターのゲーム・レゴのスペースシャトル・プリキエアのフィギュア・アンパンマンのおもちゃ・アンパンマンのお菓子・犬・洋服・任天堂スイッチのコントローラー・ハムスター・ミニカー・リボンのついた鞆・お尻探偵の本・おりけし・お菓子・リュック・絵本・お金・時間・余裕・精神力・健康・平和な日々・睡眠時間・愛・勇気・飛躍・安倍総理大臣の辞職・その他 20 個の幼児の子の書いた絵
子供は具体的なモノで、大人は抽象的なモノという特徴がはっきりと出ている。また、このようなクリスマスのイベントに参加することを恥ずかしがる大人の方もいらっしゃったが、勧誘をして参加して下さった大人の方たちも自分たちの欲しいものを考えたりしてとても楽しそうだった。年配の夫婦の方がお互いの健康と長生きがいま欲しいものと言い、書いていたのがとても微笑ましかった。イベントのブースが食彩館と百円均一ショップキャンドゥーの間であったことから、どちらかの店で買い物を済ませてからイベントに参加してくださる方が多く見られた。また、忙しくて絵を描いて切って貼る時間がないので机の上に置いてある塗り絵だけが欲しいとおっしゃる方もいた。時間のある方の中には、ツリーに飾り付けをした後、サンタクロースの服を着たスタッフとツリーの前で記念撮影をして、長机の上でチラシに色鉛筆で塗り絵をして楽しんでいたりお子さんもいた。サンタクロースの衣装は評判が良く、大抵の子供は飾り付けを終えた後、ツリーの前でサンタクロースと一緒に記念撮影を行った。また、イベントに参加してくれた方達の中にはたくさんの子供たちが含まれていることから、このイベントは単なる商店街活性化のための経済活動にとどまらず、商店街の地域貢献事業としても大きな役割を果たしたと実感している。商店街が街に、その土地に根差し、そこに住む人たちと共に商店街も発展して

いく。このようなペントを通じて住民と商店街の結びつきがより強くなり、今回参加してくれた子供たちが大きくなったときに幼少期に過ごしたこの商店街にまた戻ってきて、その子供たちが街の商店街を支え続けるきっかけになることを願っている。

・収支報告

イベントのために購入した材料は以下の通りである。

・セメダイン木工用ボンド・モール・画用紙（黒1セット、緑3セット、それぞれ1セット8枚入り）・空気入れ・風船・折り紙・マジックペン・色鉛筆・サンタクロースセットの計9種類17点でかかった経費は合計2857円であった。

MEGA ドンキホーテ 本社：東京都品川区東品川2-19-10 御影クラッセ店 1247 TEL078-657-5307 1/2 89822 2019/12/18(水) 18:50 2019/12/18(水) 18:46(元取引日時) モリ濃色外調 110 クワイクボンド14g-カチ 110 B4カラー画用紙みどり 330 B4カラー画用紙くろ 110 空気入れ空気針付 110 パーティーモールM 220 バラエティーBalloon 110 お徳用おりがみ金銀入 110 おえかきマーカ-18色 220 水彩色鉛筆12色 220 合計 ¥1,650 (10%対象 1,650) お預り ¥150 お釣り ¥1,870 お釣り ¥220 MEGA神戸本店 TEL078-230-4811 様 営業時間 8:30~翌5:00 お客様コールセンター 20:00~翌5:00 TEL:0120-445-649 2019年12月20日(金)22:14 1/2 0004 貴No*****528CS経子 子No*****528CS経子 4549777600519JAN ☆サンタクロース5点セット ¥998 りんご ¥998 外税10 ¥99 外税10 ¥99 (税合計) ¥1,102 合計 ¥1,037 お預り ¥150 お釣り ¥99 (消費税等 1点 お買上点数 1点 *印は軽減税率(8%)適用商品 「e」印はe/フマデーション税制対象 お客様No: 2701-9737-7040-1222 ドンキのめいけい 10%OFF malicaご提示で1,000円以上お買上げ時、 1-の位を最大で9円カットするサービス! malica会員様だけの特別優待サービス! レシートNo7377 店No00270	Seria 領収書 御影クラッセ店 1247 TEL078-657-5307 1/2 89822 2019/12/18(水) 18:50 2019/12/18(水) 18:46(元取引日時) モリ濃色外調 110 クワイクボンド14g-カチ 110 B4カラー画用紙みどり 330 B4カラー画用紙くろ 110 空気入れ空気針付 110 パーティーモールM 220 バラエティーBalloon 110 お徳用おりがみ金銀入 110 おえかきマーカ-18色 220 水彩色鉛筆12色 220 合計 ¥1,650 (10%対象 1,650) お預り ¥150 お釣り ¥1,870 お釣り ¥220 商品不良は返品・交換承ります。 お客様ご都合の場合レシートと商品 (開封済とお客様注文除く)を下記 期間内にお持ちください。 <返品・交換期間> 雑貨 2019/12/18~2020/01/18 食品 2019/12/18(※) ※店外に出られていない場合に限る アルバイト パート募集中! 私たちと一緒に楽しく お仕事をしませんか? (面接) 8時~18時 Webまたはお電話で お気軽にどうぞ。	Seria 領収書 マツタニリイフス 1637 TEL078-262-1337 1/2 82605 2019/12/20(金) 17:03 セメダイン 木工用速乾 合計 ¥110 (10%対象 110) 1点(内、消費税等 10) お預り ¥110 商品不良は返品・交換承ります。 お客様ご都合の場合レシートと商品 (開封済とお客様注文除く)を下記 期間内にお持ちください。 <返品・交換期間> 雑貨 2019/12/20~2020/01/20 食品 2019/12/20(※) ※店外に出られていない場合に限る アルバイト パート募集中! 私たちと一緒に楽しく お仕事をしませんか? (面接) 8時~18時 Webまたはお電話で お気軽にどうぞ。
--	--	---

・最後に

この度は私の研究学習にご協力いただきありがとうございました。今回のイベントが商店街の発展に少しでも寄与し、この素晴らしい商店街が代々受け継がれていくことを願っています。今回のイベントができたのは、理事長やイベント担当の坂上さん、事務員さんをはじめ、理事会で応援して下さいた皆様のご協力のおかげです。協力して頂いた全ての

方に感謝いたします。

第2節考察

今回の研究では、「商店街の活性化を目指して」を題に、地元にも古くからある甲南本通商店街を今よりもっと活性化させるにはどうすれば良いかについて考え、研究してきた。そこで、より良い商店街のこれからのあり方について考える材料として大きな役割を担ったのが、沼島でのフィールドワークである。沼島では、人口が減り、これまで島の経済を支えていた農業や食肉加工業がなくなり、産業が単純化してきていた。そんな中でも島民は沼島の最大の産業である水産業に従事し、島を守り抜いていた。商店街も同様にシャッターをおろしている店舗が少なからず見受けられた。そんな商店街を活性化させるためには、沼島が島の強みである水産業を守り抜いてきたように、商店街では、商店街が大きなショッピングモールや、チェーン店ではできないような、その土地に密着した1つの地域の交流施設となることで、地域との結びつきが強くなり今後もずっと残っていけるようなものとなるだろうと考えた。そこで地域の方々と商店街が交わることでできるようなイベントを企画し、実行することで、たくさんの人が商店街に足を運んでくださり、商店街がより一層活性化した。今回のイベントの反省点としては、スタッフの数が少なかったため、イベントの参加者の方1人1人と会話をし、商店街に関するアンケート調査などができなかった点。商店街で買い物をして下さい下さった方々それぞれの年齢、性別、購入時間、来街頻度など消費調査ができなかった点。今後の展望としては、今回の研究結果を踏まえて、第2弾のイベントを商店街で行い、事前に今回よりも大量の広告チラシを配布し、事前に配布した広告を持参した人しかイベントに参加できないようにし、集客実験をするのが面白そうなので期待している。広告のリアクション率やそれによって商店街の売り上げがどれほど伸びるのかについて分かったと商店街さらなる発展につながると感じている。

参考文献

- 三省堂「大辞林第三版」2006年出版
- JobMedley 「高齢化社会」「高齢社会」「超高齢社会」の定義から違いを知ろう。
<https://job-medley.com/tips/detail/904/>
- ミドルシニアマガジン 2030年問題とは？高齢化と労働力不足が引き起こす問題について
<https://mynavi-ms.jp/magazine/detail/000384.html>
- 神戸市 国勢調査による修正推計人口
<https://www.city.kobe.lg.jp/a89138/shise/toke/toukei/jinkou/suikai-jinkou/sokuyuu/jinkou.html>
- 神戸市 駅まち空間
<https://www.city.kobe.lg.jp/a55197/shise/kekaku/jutakutoshikyoku/kobetoshin/eki-machi/index.html>
- 御影バル公式ホームページ
https://mikage.in/bar_main/

7、沼島 連光寺ホームページ

<http://efini96.sblo.jp/article/61512141.html>

8、地理院地図

<https://maps.gsi.go.jp/#5/36.104611/140.084556/&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>

9、甲南本通商店街ホームページ

<http://www.konan-hondori.com/history/>

10、Google マップ

<https://www.google.co.jp/maps/dir///@34.7159634,135.267031,1357m/data=!3m1!1e3!4m2!4m1!3e3>

11、南 埜 猛 経済地理学年報 第 57 巻 pp.75~89 溜池の 存続とその維持管理をめぐる

取り組み 2011 年